



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター

〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8

E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp

URL <http://www.kks-support.sakura.ne.jp/>



「ウェルビーイング」とは？

早いもので、もう、12月、師走となりました。年の暮れに、もう一度「かわさき教育プラン」の内容を振り返ってみたいと思います。

「かわさき教育プラン」の24ページに「子どもたちが自分の価値を認識しながら、他者の価値も尊重する意識を醸成し、一人ひとりの多様な幸せや社会全体の幸せともいべきウェルビーイングの理念の実現により、多様性と包摂性のある持続可能な社会を目指すことが重要です。」と書かれています。この「ウェルビーイング」とはどういうことを意味しているのでしょうか。

「ウェルビーイング (well-being)」は、健康、幸福、福祉などと直訳されます。ウェルビーイングということばが初めて登場したのは、1946年に世界保健機関 (WHO) が設立されたときです。この言葉が注目されてきたのは、SDGs という理念が世界共通目標として認識されてからです。SDGs の目標3には、「すべての人に健康と福祉を (Good Health and Well-Being)」—あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進するとあります。ここでのウェルビーイングは「福祉」と訳され、ターゲットを見ても、妊産婦や新生児の死亡率、感染症対策、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジなどについて示されているように、「健康」「福祉」などの意味あいが強く感じられます。

しかし全体で捉えると、SDGs は「地球上の誰一人取り残さない」、経済・社会・環境の3つのバランスがとれた社会を目指すものです。ウェルビーイングも、単に個人が幸せであればいいのではなく、個人と社会、ひいては地球全体が満たされた状態とは何かを考えるべきものです。ウェルビーイングは、SDGs を達成するための価値観の基準であるとも言えるでしょう。貧困がなくなり、質の高い教育を受けることができ、人や国の不平等がなくなり、17の目標を達成した先にあるのが、地球全体のウェルビーイングであるはずで

研究部会

11月2日 (水) 午前9時30分から、第8回研究部会が宮ノ下で開催されました。2月11日の「不登校シンポジウム」(サポートセンターの中間報告会を兼ねる)に向けて、精力的な話し合いが持たれました。当日のシンポジストには、中学校の現職支援教育コーディネーターや川崎市のSSW、さらに民間NPOの子ども支援担当者(保護者代表)をお招きしてはどうかと検討されました。また、「子どもの声を聴く」という子どもや保護者、サポートセンタースタッフのアンケート内容も継続して話し合われています。次回の研究部会は、12月7日に開催されます。



ふれあい体験活動

11月5日 (土) 午後1時30分より、宮ノ下を会場に「ふれあい体験活動」が開催されました。当日は、保護者5人、子ども5人、合わせて10人の参加者がありました。本日のふれあい体験活動は、図画工作の重鎮、石田先生です。傘袋を利用した「ロケット」や針金を使った「行燈」づくり、最後は特殊な粘土を使った花瓶作りです。皆が笑顔になる、楽しい体験ばかりでした。



事務局会・役員会

11月11日(金)川崎市教育会館で、午後1時から事務局会、午後3時から役員会が開催されました。

役員会では、通常の事業報告のほかに、2月11日に開催される「研究報告会(不登校シンポジウム)」や「今後のサポートセンターの運営について」が提案されました。研究報告会の内容は、全員一致で了承されました。「サポートセンターの運営」については、ワークシェアリングを基本とし、月80時間程度の勤務時間とすることや72歳定年、1年ごとの延長制などが提案されましたが、役員の皆様からは「今後70歳からの雇用が想定される中、72歳定年では早すぎるのではないかと。75歳定年としてはどうか。」「その後1年ごとの延長ではどうか。」「延長に関しては、理事長の承認ではなく、事務局長、副理事長等複数



の合議制ではどうか。」と提案がありました。「何よりも、このサポートセンターの『子どもたちの支援』という設立趣旨が守られ、引き継いでいけるような組織の改革をしてほしい。」という意見がありました。これらの意見を踏まえて令和5年1月13日の事務局会、役員会で再度提案することになりました。



第5回中原ミーティング

11月15日(火)午前10時から中原区役所会議室で「支援が必要な子どものための保護者ミーティング」が開催されました。この日は、雨のため若干参加者が少なかったように思いました。会場では、小学校低学年のお子さんをお持ちの保護者のグループ、小学校高学年と中学生のお子さんをお持ちの保護者のグループの2つに分かれて話し合いが持たれました。家庭のこと、学校のこと、高校進学についてなど保護者の間で積極的に意見交換が行われました。次回は、2022年12月13日(火)10時から、中原区役所502会議室で行われます。奮ってご参加ください。



学校サポーター研修会

11月22日(火)午前・午後、11月28日(月)午前・午後の4回にわたり学校サポーター研修会が行われました。4回の参加総数は、326名でした。研修会では、サポートセンター理事長と、総合教育センター教育相談センター室長から研修の意義について話がありました。その後、教育相談センター荒谷健一指導主事から「子どもの理解と支援～教育相談的な視点から～」というテーマで講演がありました。最後にサポーター同士で情報を交換する場が設けられました。



参加した皆さんからは、「講演がグループワークを取り入れて参加しやすかった。」「講演の具体例がわかりやすかった。」などのご意見をいただきました。また「サポーター同士で話し合う時間が貴重なのをたくさん時間を取ってほしい。」という意見も寄せられました。サポーターの皆さんのアンケートの内容は今後の研修に生かしたいと思われました。

12月の行事予定

1	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
2	金	学習支援幸・日吉教室
3	土	
4	日	
5	月	事務局打合せ⑨
6	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
7	水	研究部会⑨学習支援幸・日吉教室、幸区連絡協議会
8	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延、児童生徒指導連絡会議(旭町)
9	金	事務局会13時、学習支援幸・日吉教室
10	土	文化講演会14時生涯学習プラザ、寺子屋ハッピータウン分教室
11	日	
12	月	
13	火	中原区保護者M⑥、学習支援川崎教室
14	水	日本語支援東小倉、学習支援幸・日吉教室、寺子屋富士見っ子
15	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
16	金	研究協議会③14時、学習支援幸・日吉教室
17	土	寺子屋富士見っ子体験活動
18	日	サイエンスキッズ準備打合せ会(10時宮ノ下)
19	月	学習相談部会⑧
20	火	学習支援川崎教室、寺子屋さぎぬま
21	水	日本語支援東小倉、学習支援幸・日吉教室
22	木	学習支援川崎教室、寺子屋上作延
23	金	川崎市定例会議(旭町)
24	土	寺子屋ハッピータウン分教室、寺子屋さぎぬま体験活動
25	日	
26	月	南野川年末休業
27	火	宮ノ下年末休業
28	水	
29	木	旭町年末休業
30	金	
31	土	